

る深い愛の持主となつていたと思ひます。敗戦後の今日、設備も費用も不十分であります、たつた一つこれを補うものがありとすればそれは實に保母さんの子供への愛情だと云えます。この愛情が保母さんであれば、ないないすくしの中に立派に新しい日本を背負つて立つ子供になつて呉れることを確信してゐます。そしてその愛情は幼稚園だけでなく、國民學校に入つた後もなくなるものでなく、幼稚園時代の實態としての保育記録はそのまゝ國民學校教育の教育に役立つものでなければなりません。又反面國民學校からの觀察の結果を知らせて貰ふことによつて、次の保育に精進する力となるものでなければなりません。

最後に國民學校教育への御願があります。今日の國民學校教育の中には、案外保育の効果を輕視される方の多いのは誠に残念なことであります。『まあ幼稚園から來れば集團生活の結果多少なれてるので家庭より初めて入學した子供に比べてよいが、そのうち區別がなくなりますよ。』と云うことを平氣で云う人があります。この教育は、折角幼稚園で啓發した集團生活への芽生えを伸ばすことを忘れて未經験の子供にのみ氣をとられた結果、悪い意味での劃一にして喜んでいるのであります。折角身についた生活への芽を育てあげるのが今日の教育ではないでしょうか。幼稚園から來た子供は慣れずぎていけないと云うが、その長所を伸ばす工夫をせず、又正しい方へ向かわせる努力が考慮されずに、保育の効果について

近視眼的であることを残念に思うのであります。私は現在の國民學校の教育が、もつと眞剣に幼児教育を研究しなければ、到底低學年教育の効果はあがらないばかりでなく、保育の効果まで減殺して竹に木をついだものにすることを恐れるものであります。かゝる缺點を除去するには、前述の様にもつと國民學校教育に保育を研究していただくことも一策ですが、より望ましいことは就學前保育した保母が教育としての實力を持つて、引つゞき國民學校一年の擔當教育となること
が理想的だと思つてあります。

(一五五よりつづく)

歌わせたりするような場合、できるだけこれをそのからだのはたらきにうつたえて味わわせるようにすることが、極めて自然であり、また有効であるということになる。

幼稚園などでよく一つの唱歌を歌わせ、それに大人の人のつけた遊戯を教えているのを見かけるが、私は特に音楽や遊戯に興味を持つて居られる幼稚園の先生方に一つの提言をし御研究をお願いしたいと思つてあります。

それは音楽を聞かせたり、唱歌を歌わせたりする時に、お子さん方の身體的な活動が或る型にはまつた振というものに支配されないで、もつと自由に表現されなくてはならないのではないか。そしてそれが靜かに音楽を聞くとか、先生の口眞似をして歌のふしや言葉を感じるということに先行しなくてはならないのではないかと云うことである。もちろん大人のつくつた振を教えるということにはまた別な意味があるうが、自由を喜ぶ子どもたちの遊戯性をたつとぶという意味からもこのことを深く研究していただきたいと思つてあります。